

文化・芸術

《名画の扉》

大川美術館コレクション展から
展示室6「ハイレッド・センターのアーティスト
たち—高松次郎・赤瀬川原平・中西夏之」

ハイレッド・センターは、1963年に高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之によって結成された前衛芸術集団です。現在、展示室6では桐生市在住の個人の方のコレクションを中心として、三者三様の先鋭的な創作活動の軌跡を紹介しています。

メンバーの一人、ベストセラーとなった「老人力」などの文筆業でも知られる赤瀬川原平は、63年に模型千円札を制作したことにより通貨模造の罪に問われる感覚で捉えられて、「千円札裁判」を闘います。

(佐藤)

赤瀬川原平 (1937~2014年)

「展示風景」

「大日本零円札」1967年、オフセット・紙、14.0寸×30.0寸(個人蔵)
「トマソン黙示録」(部分) 1988年、オフセット、凸版印刷・紙、36.4寸×51.5寸(個人蔵)
写真手前から

